

学生用

大学（中学校・高等学校・栄養教諭 教職課程履修者用）
短大（中学校・栄養教諭 教職課程履修者用）

教職課程『履修カルテ』説明資料

卒業まで継続作成するため、この資料を大切に活用してください

『履修カルテ』は、MUSES『履修カルテ』〈自己評価シート入力〉画面で作成します。
（新教の中学校課程履修者は学科の指示に従ってください）

教員免許取得希望者は、教職課程科目の履修を始めてから、「教職実践演習」（教職必修）の授業終了までの間、各自で『履修カルテ』を作成しなければなりません。

「教職実践演習」（卒業学年 後期科目）は、教員として必要な知識・技能の修得を確認する総まとめ科目で、教職課程科目の履修履歴と教職実践力の修得実態を踏まえて内容を構成するため、『履修カルテ』を活用していきます

*「教職実践演習」には、履修要件が設定されています（要件を充足しなければ履修できない。『履修便覧』参照）

*** 教職課程履修の手続き終了後（栄教は9月の合否発表後）から利用できます**

【注意】『履修カルテ』には、皆さんの個人的情報が記載されますので、取り扱いには万全の注意を払っていただくよう、先生方をお願いしています。皆さんご自身も、『履修カルテ』の保管については、注意してください。

I 『履修カルテ』の作成・利用のスケジュール

	時期	学生がすること	備考
①	今年度～卒業までの各前期・後期 各期の授業終了後から	自己評価を、科目ごとに入力する (p.2～p.3-A参照)	後日、教員（担任・研究指導教員・実習引率指導教員・教職実践演習担当者等）が参照する
②	今年度～卒業までの各前期・後期 各期の授業成績発表の 2週間後から	授業担当による成績評価および指導コメントを参照する (p.2～p.3-C・D参照)	成績評価が70点未満の者にコメントの記載がある
③	今年度 9月末まで	課題事項Ⅰを入力する (p.2～p.3-B参照)	学生の入力後、教員がコメントを入力するので、学生は10月以降参照する
④	教育実習実施年(大学4年・短大2年) 教育実習の開始前 (事前ガイダンスまでに)	課題事項Ⅱを入力する (p.2～p.3-B参照)	学生の入力後、教育実習開始までに、教員がコメントを入力するので、学生は参照する
⑤	教育実習実施年(大学4年・短大2年) 教育実習終了後すぐ (教員への終了報告までに)	課題事項Ⅲを入力する (p.2～p.3-B参照)	学生の報告から1か月後までに、教員がコメントを入力するので、学生は参照する
⑥	大学4年・短大2年(後期) 「教職実践演習」の初回授業	『履修カルテ』を提出する (p.2～p.3-③参照)	教育実習が大学4年・短大2年の後期の場合は、課題事項Ⅲは未入力でも提出する
⑦	大学4年・短大2年(後期) 「教職実践演習」終了後 1週間以内	課題事項Ⅳを入力する (p.2～p.3-B参照)	2月中に教員がコメントを入力するので、学生は卒業式までに参照する
⑧	大学4年・短大2年(3月) 卒業式までに	完成した『履修カルテ』をファイルに綴じる (p.2～p.3-③参照)	ファイルを各自で準備。 卒業前に、出力して、卒業後の教育活動に役立てる

※「教職実践演習」（卒業学年後期）の初回授業日に授業担当者に以下の様式で提出

提出様式・・・A4で出力。左上1か所をホチキス留め。左側にパンチで2穴あける
（『履修カルテ』は、教職実践演習の成績評価に10点配点されます）

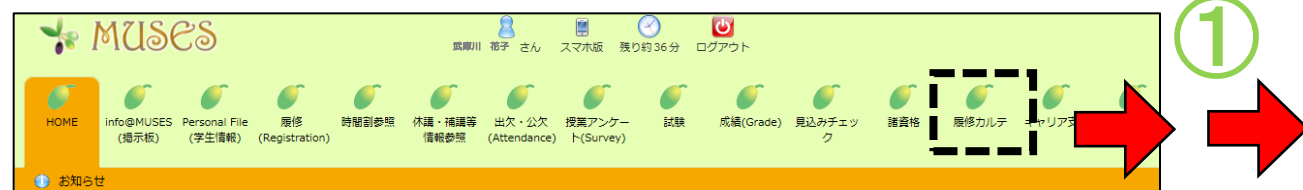
II 『履修カルテ』〈自己評価シート〉の入力について

*おもに中学校教職課程の説明となっていますが、栄養教諭も準じて入力してください。

MUSES『履修カルテ』〈自己評価シート〉から、**A〈自己評価〉**と**B〈課題事項入力〉**(I~IV)を随時入力して作成します。**C・D〈科目の履修状況〉**で、各科目の成績、教員からの指導コメントを確認できます

*教員の指導コメントを参照した後で修正することもできます

*編入学・所属変更した学生は、旧所属での履修履歴を加味しながら作成してください



B<課題事項入力>(I~IV)

B 課題事項入力画面へ
 教職を目指す上で、課題と考えている事項を400文字まで入力。入力内容は、教員(担任・研究指導教員・実習引率指導教員など)が、確認します

【学生コメント欄】に入力後「保存」をクリック

【アドバイス・コメント欄】には、教員のコメントが記載されます

【2】教職を目指す上で、課題と考えている事項

【目的】教職課程を履修される皆さんが、1年次または2年次からの履修開始段階から、教育実習の事前・事後の段階、そして「教職実践演習」の修了段階において、教職を目指す上での課題について自覚し、教職実践力のさらなる向上を支援するためのものです。その時々あなたの思いや体験・課題を記録していきます。学校教育センター委員の先生、クラス担任の先生、先生方からのアドバイスやコメントを参照しつつ、教職への道を力強くステップアップしていきましょう。

【アドバイス・コメント欄】 履修教員:

①

②

A<自己評価〉

自己評価シート入力/自己評価

学年所属	文学部日本語日本文学科	年・クラス・番	4年Aクラス22番
学主氏名	武庫川 花子	学籍番号	2017771
入学年度	2020年度	履修年度年月	2020年4月

【1】必要な資質能力についての自己評価

【目的】この履修カルテ〈自己評価シート〉は、教職を目指す皆さんの教職課程履修状況を把握し、必要に応じて、履修をサポートすることを目的としています。教職課程の科目を確実に履修され、必要な単位を修得することはもちろんですが、実際に教師になるうえで必要な資質能力が身に付いているか、確認しながら、確実に教師への道を歩み続けましょう。

【方法】学期ごとに、単位の修得状況と併せて、「履修指標」に即して5段階で自己評価を行ってください。記入は卒業まで継続的に行いましょう。自己評価を行う際には、関連する履修科目の内容やその成績評価及びコメント・教育実習記録・教育実習振り返りシート・提出レポート類・学校ボランティア体験内容等を参照しましょう。

◆課題事項を入力する場合は以下を押してください。

【2】教職を目指す上で、課題と考えている事項

◆科目の履修状況を確認する場合は以下を押してください。

＜履修状況＞中高一種(国語) ＜履修状況＞高一種(国語)

下の表に自己評価を入力してください。入力した後は、『履修カルテ』状況欄の「表示」ボタンをクリックしてください

保存 クリア

A 自己評価の入力
 履修科目の学習成果だけでなく、大学生生活全般やボランティア活動で学んだことなどを踏まえ、教員として必要とされる資質能力の確認指標ごとに入力します

(2) 自由記述
 取り組みや探求課題を自由に入力
 自己評価を踏まえ、具体的に対応しようと考えている「取り組み課題」「探究課題」などを入力(具体的記述が望ましい)

(1) 自己評価
 活動時期が長期であれば複数期入力
 【基準】4=とてもよく確認できる 3=よく確認できる 2=少し確認できる 1=あまり確認できない 0=全く確認できない

入力後は「保存」

(3) 対応科目名称
 必要な資質能力を確認できる活動があれば、空白行に入力
 学友会活動(幹事会やクラブ活動を含む)・特別学期科目・介護等体験・教探特講・ボランティア・塾講師体験・学業生活など、学生自身の判断で空白欄に活動名を入力

③

C<科目の履修状況>(全授業科目)

C 科目の履修状況参照画面へ
 該当免許状取得のための科目の履修状況がわかります。履修した年次、成績、入力があれば担当者コメントが参照できます

『履修カルテ』を印刷して保存(印刷サンプルC)

授業担当者のコメントが記載されます。授業担当者には、成績評価が70点未満の場合に記載をお願いしていますが、すべての科目・受講者に対してコメントが記載されているわけではありません(コメントは成績評価ではありません)

D 個別科目成績参照画面へ
 該当科目の履修年次・成績・(入力があれば)担当者コメントが参照できます

D<科目の履修状況>(個別科目)

科目区分	科目名	単位	科目担当教員名	履修年次	履修成績	履修コメント
普通1		2.0	松本 美穂	2017前	93	
				2020後	93	[2018/1/22 松本 美穂] います。

編入学・所属変更生では、短大で取得済み単位=教認(短大)がN1と表示されます
 *Nは認定(編・所)で教員免許取得には使えません

A<自己評価シート〉入力画面に戻る

2

III 留意事項

- ◆「教育実習の記録」、教職課程科目のレポート類、ボランティア活動体験報告書など、教職関係の資料は、ファイルに綴じておきましょう
- ◆先生方に指導を受ける場合は、必要に応じて『履修カルテ』を印刷して持参してください
- ◆平素より、『履修カルテ』をこまめに入力して作成するように心がけましょう。入力時期を過ぎても入力可能ですが、入力年月日が入ります。スケジュールを確認して入力しましょう
- ◆卒業後、教員免許取得のために科目等履修する場合や、編入学・所属変更する場合には、本学だけでなく他大学でも『履修カルテ』が必要になるので、在籍中に必ず印刷して保管しておくこと(本学短大生の本学大学への編入学・所属変更の場合も、短大時の『履修カルテ』は使えなくなります)

『履修カルテ』利用のポイント

- (1) 学習課題を探る客観的なデータとして利用する
 教職課程全体の学びの成果を入力し、授業や学生生活を通して、何を学んだか、得意不得意分野など、教職に就く上で、自らの課題を明確にし、今後どのような学習が必要なのかを考えて学習する
- (2) 教職課程科目の履修状況を把握し、計画的な履修に利用する
 『履修便覧』の教職課程「履修モデル」「到達目標」を参考に、必要科目を履修し、『履修カルテ』で履修状況を確認して計画的に履修する
- (3) 教員採用選考試験の際に問われる教員志望動機や大学で学んだことなど、『履修カルテ』の作成により、自らの教職への歩みと学びを確認でき、自信を持って回答できるようになる

3

IV 印刷サンプル

サンプル A・B<自己評価シート>【自己評価】【課題事項】

履修カルテ参照<自己評価シート>

印刷

学生所属	文学部 日本語 日本文学科	年・クラス番	1年Aクラス1番
学生氏名	〇〇 〇〇	学籍番号	〇〇〇〇〇〇
入学年度	2015年度	履修要項年月	2015年4月

【1】必要な履修能力についての自己評価 **課題事項へ移動する** **印刷**

【目的】この履修カルテ<自己評価シート>は、教職を目指す皆さんの教職課程履修状況を把握し、必要に応じて、履修をサポートすることを目的としています。教職課程の科目を確実に履修され、必要な単位を修得することはもちろんですが、実際に教職になるうえで必要な実力が身に付いているかが、確認しながら、審美に教職への道を歩み続けましょう。

【方法】この履修カルテは、学期ごとに、単位の修得状況と併せて、「確認指標」に即して5段階で自己評価を行って下さい。講義検討委員の先生の指導に従って、記入を継続的にお願いします。自己評価を行う際には、関連する授業科目の内容やその成績評価面及びコメント・教育実習記録・教育実習振り返りシート・提出レポート・学校ポータルサイト体験内容等を参照しましょう。

大項目	中項目	確認指標	主な対応科目 名称、主な対応 領域/活動[正規 授業以外の活 動を含む]空白 行は全角20文 字まで入力可 能	自己評価				具体的な課題等につき自由に 記入して下さい(全角200文 字まで入力可能)。			
				1年次		2年次					
				前	後	前	後				
学校教育についての理解 【使命感 や責任感、 教育的愛情】	教職の意識	教職の意識や教員の役割、勤務内容、子どもに対する姿勢を理解していますか。	教職入門	3				教職者とは、教員だけでなく保護者や地域の人々など様々な人が当てはまるので、意識が大切です。			
			教育の理念・教育史・思想の理解	教育の理念、教育に関する歴史・思想についての基礎理論 知識を習得していますか。	4						
	学校教育の社会的・制度的・経済的・経営的理解	学校教育の社会的・制度的・経済的理解に必要な基礎理論 知識を習得していますか。	教育行政学								
			教育心理学	3							
子どもについての理解 【生徒理解 や学習経 営】	子どもの心理・発達・学習の観点から理解する	子どもの心理・発達・学習の観点から理解する必要がある心理・発達の基礎知識を習得していますか。	教育心理学	3				今まで学ぶ機会がなかったが、障害をもつ子供の母親の話を大変さを知り、最後の知識を身につけたいと思った。			
			障害児の発達と教育	3							
	学習集団の形成	学習集団形成に必要な基礎理論 知識を習得していますか。	教育実習指導(中)								
			生徒指導・進路指導					教科書に実際に記された内容が載っていない、生徒指導も進路指導も難しいと思った。多くの指導方法を学びたい。			
子どもの状況に応じた対応	いじめ、不登校、特別支援教育などについて、個々の子どもの特性や状態に応じた対応の方法を理解していますか。<例>ポランティア活動>>	教育相談の理論と方法 障害児の発達と教育	教育実習 I (中)	3							
			教育実習 II (中)								
他者との協力【社会性 や対人関係 能力】	他者の意見やアドバイスを聞き、理解や協力を得る課題に取り組みることができますか。<例>の介護体験の教育実習①大学生活全寮・クラス幹事会・学生会活動②クラブ活動③学生生活のボランティア	体育祭応援団	4				積極的に話をすることで、先輩と様々な交流ができ、先輩の考え・気持ち、練習への姿勢を十分に受け止めることができた。				

サンプル C<科目の履修状況>

照<科目の履修状況> [MUSES]

1/3 ページ

照<科目の履修状況>

文学部 日本語 日本文学科	年・クラス番	3年Cクラス26番
〇〇 〇〇	学籍番号	〇〇〇〇〇〇
2018年度	履修要項年月	2018年4月
3.72	該当科目 GPA	3.73

※は、このカルテに記載された科目を対象としています。
※赤字、再履修は赤字

は科目の履修状況>大目/中高一(国語)

印刷

【目的と留意事項】
本履修カルテは、教職課程に関する全教員が個々の学生を適切に指導するために、学生が履修に必要とする科目・単位を履修し、教職課程に活用することを目的としています。
【科目に関する科目】「教職」に関する科目、「教職」又は「教職」に関する科目の履修状況並びに履修等のコメントが、記載されます。コメントについては、担当者の判断により全ての履修学生についてはありません。また、コメントの有無により成績評価面や向上からの不利益が生じることはありません。
※は、自己評価シートの作成に際してこのカルテを積極的に活用するとともに自らの現状と課題を的確に把握し、継続的に活用することを目的としています。カルテ記載の履修履歴と履修要件を学期履修計画を立てましょう。

※は、単位の修得状況を確認してください(履修履歴参照)。

授業科目名	単 位	科目担当 教員名	成績評価欄		履修者の具体的な傾向・特徴・課題等 記録内容を参考にして、各自の課題を自覚し、必要に応じて、オフィスアワー等に面談指導を受けましょう。
			履修年次	得点	
語表現演習 I	1.0	押川 かおり	2019前	85	
語表現演習 II	1.0	山本 欣司	2019後	90	[2020.1/31 山本 欣司]
語学概論 I	2.0	設楽 肇	2018前	97	[2018.8/6 設楽 肇] 日本語に対する知識と関心を高め、基礎的な知識をさらに深め、教員としての覚悟を高めてください。
語学概論 II	2.0	設楽 肇	2018後	85	
音韻論	2.0				
意味論	2.0				
文体論	2.0				
表記論	2.0				
語史 I	2.0				
語史 II	2.0				
古典文学概論	2.0	羽生 紀子	2018前	95	[2018.8/14 羽生 紀子] 授業で取り扱った内容について、おおむね理解に達しています。 [2018.8/19 小泉 京美] 日本の近代文学についての基礎的な知識を

【2】教職を目指すうえで、課題と考える事項 自己評価シートへ移動する

【目的】教職課程を履修される皆さんが、1年次又は2年次からの履修開始段階から、教育実習の事前事後の段階、そして「教職実習演習」の修了段階において、教職を目指す上での課題について自覚し、教職実習力のさらなる向上を支援するためのものです。その時々あなたの思いや体験、課題を記録していきます。学校教育センター委員の先生、クラス担任の先生、実習引当指導の先生、教職課程科目の授業担当の先生方からのアドバイスやコメントを参照しつつ、教職への道を力強くステップアップしていきましょう。

I 教職課程を履修するに際して・・・<1年時>又は履修開始学年>

【学生コメント欄】更新日:2020年5月28日

学校に行かなくても授業動画や塾で学ぶことができるようになった現代社会では、学校で学ぶことの意義や価値が希薄化している。そこで私は生徒自身が「学校に行ってみよう」と感じられるような授業をするために、必要な知識やテクニックを4年間で身につけたい。また、生徒と向き合い、生徒に寄り添うことのできる教員になりたいと感じる。

【アドバイス・コメント欄】 確認教員:

II 教育実習を前にして・・・

【学生コメント欄】更新日:2020年5月28日

学校教育センター

0798-31-0243/0798-31-0297

平日 9:00-17:00

土曜 9:00-13:05

(11:15-12:15 閉室)

令和4年4月改訂